

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
苫小牧市	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本市の地理的条件として、隣接する他の自治体と居住区域が離れており、また本市と同規模の自治体がないため、広域化等によるスケールメリットが出にくい状況にある。

このため、包括的民間委託等の手法ではないものの、配水管の維持修繕をはじめ、個別に業務委託など民間活用を図りながら経営に取り組んでいる。経営戦略の計画期間内(令和10年度まで)は資金黒字を維持できることから、当面は現行の経営手法を継続するものである。

なお、当市の経営戦略では、給水人口減に見合った保有施設の合理化(スペックダウン)と投資の平準化を継続的に検討することとしており、老朽化施設の更新に伴う企業債未償還残高の増加・資金黒字の減少を課題として把握していることから、よりよい経営手法を継続的に検討していく考えである。